

令和4年版

密輸の動向

白い粉・黒い武器レポート

財務省関税局調査課

はじめに

近年、社会のグローバル化が進展していることを背景として、国際的な物流や人的交流が拡大しているところ、国民生活の安心・安全を脅かす覚醒剤等の不正薬物、銃砲、テロ関連物資等、及び健全な経済の発展を損なう知的財産侵害物品等のいわゆる社会悪物品が密輸される危険性が高まっています。また、こうした傾向は、新型コロナウイルスの感染拡大により物流や人の動きが大きく変化した後も継続しており、社会悪物品の流入をめぐる我が国の状況は深刻になっていることがうかがわれます。

このような状況の中、財務省関税局・税関においては、社会悪物品の水際取締りを重要課題の一つとして位置付け、多様化する密輸手口にも対応すべく、情報収集及び情報分析の強化、関係機関との連携強化、取締機器の配備強化等の種々の施策を積極的に推進しているところです。

本冊子は、社会悪物品の水際取締りにおける重要性に鑑み、我が国における社会悪物品の密輸動向及び税関における密輸対策等について取りまとめたものです。取締りを担当する方々の執務の参考にしていただくとともに、広く一般の方々に税関が行う水際取締りに対するご理解を深めていただき、税関行政に対して一層のご協力をいただければ幸いです。

財務省関税局調査課

目 次

| | |
|----------------------------|--------------|
| I. 不正薬物の密輸動向 | |
| 1. 不正薬物の摘発状況 _____ | - 1 - |
| 2. 不正薬物の乱用がもたらす影響 _____ | - 6 - |
| II. 銃砲等の密輸動向 _____ | - 8 - |
| III. 金地金の密輸動向 | |
| 1. 金地金の摘発実績 _____ | - 9 - |
| 2. 金地金密輸の仕組み _____ | - 10 - |
| IV. 知的財産侵害物品の取締り | |
| 1. 知的財産侵害物品の差止状況 _____ | - 11 - |
| 2. 知的財産侵害物品の摘発状況 _____ | - 14 - |
| V. その他の密輸の取締り | |
| 1. ワシントン条約 _____ | - 15 - |
| 2. 不正輸出 _____ | - 16 - |
| 3. 偽造有価証券 _____ | - 16 - |
| VI. 密輸防止に向けた税関の取り組み | |
| 1. 取締機器の有効活用 _____ | - 17 - |
| 2. 情報を活用した取締り _____ | - 20 - |
| 3. 関係機関との連携強化 _____ | - 22 - |
| 4. 国際的な情報交換等の推進 _____ | - 23 - |
| VII. 政府における対策 | |
| 1. 犯罪対策閣僚会議 _____ | - 25 - |
| 2. 薬物乱用対策推進会議 _____ | - 26 - |
| 3. 銃器対策推進会議 _____ | - 27 - |

参考資料

| | |
|---------------------------|--------|
| 1. 不正薬物の種類 | - 28 - |
| 2. 主な不正薬物の製造方法・薬理作用等 | - 29 - |
| 3. 銃砲の種類 | - 30 - |
| 4. 拳銃の形式上の種類 | - 31 - |
| 5. 世界における密輸動向等 | - 32 - |
| 6. 社会悪物品の摘発実績 | - 35 - |
| 7. 不正薬物の密輸形態別摘発件数 | - 36 - |
| 8 - 1. 覚醒剤の密輸形態別摘発実績 | - 36 - |
| 8 - 2. 覚醒剤の仕出地別摘発実績 | - 37 - |
| 9 - 1. 大麻の密輸形態別摘発実績 | - 38 - |
| 9 - 2. 大麻草の仕出地別摘発実績 | - 38 - |
| 9 - 3. 大麻樹脂等の仕出地別摘発実績 | - 39 - |
| (参考) 関税法(注)違反事件の犯則態様別処分件数 | - 39 - |
| 10. 各知的財産権の概要 | - 40 - |